

臨床心理学

[講義] 第1学年 後期 必修 1単位

《担当者名》 本谷 亮(心) motoyan@hoku-iryo-u.ac.jp 関口 真有(心)

【概要】

臨床心理学とは、応用心理学の1つであり、心理学的な諸理論や科学的知見に基づく方法を実践し、問題行動の改善、心理社会的な不適応状態の解消、さまざまな病理的問題の解決、あるいは人格的な成長の促進を目指す学問、かつ専門的な援助体系である。

この講義では看護師・保健師が直面する具体的な問題への臨床心理学的な対応や考え方を通して、臨床心理学とは何かについて勉強し、看護について考える視点を獲得する。

【学修目標】

- 1) 臨床心理学の基本的概念を理解する。
- 2) 臨床心理学の諸理論や発想を学び、看護の現場における広い視野を獲得する。
- 3) 臨床心理学の発想や技法を学び、臨床場面で活かせる対人的な援助技術を習得する。
- 4) 臨床心理学による治療とは何かを学び、連携に活かす。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	臨床心理学概論	臨床心理学の基本的概念、および看護の現場との接点について学習する。また、看護・保健の現場に必要なカウンセリングについて、その考え方と実際に学ぶ。	本谷
2	心理療法概論	臨床心理学の代表理論である精神力動論、行動理論、人間性心理学理論について、基本的発想と意義を学習する。また、各理論に基づく治療法を学ぶ。	本谷
3	心理検査・アセスメント	代表的な心理検査の種類や特徴について学習する。また、アセスメントの定義や目的を学ぶ。	本谷
4	ストレスと関連疾患	ストレスの基本的な考え方、およびストレスに関連して引き起こされるさまざまな状態や疾病について学習する。また、ストレスマネジメントの基本的発想、特徴、臨床現場における実際について学ぶ。	本谷
5	対人スキル・アサーティブネス	対人スキルについて、アサーティブネスの発想を学習する。また、その発想に基づくアサーティブネス・トレーニングの実際を学ぶ。	関口
6	パーソナリティ障害	パーソナリティ障害の特徴と患者の抱える問題、およびパーソナリティ障害に対する心理学的支援、心理療法について学習する。	関口
7	神経発達症	神経発達症(ASD, ADHD, LD)について概観し、家庭や教育現場での対応の仕方について学ぶ。	関口
8	不安症	不安症の特徴と患者の抱える問題、および不安症に対する心理学的支援、心理療法について学習する。	関口

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学環、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】

導入している

【評価方法】

定期試験(筆記試験)(100%)

【教科書】

特に指定しない。毎回プリントを配付する。

【参考書】

看護を学ぶ人のための心理学 遠藤公久(編) 弘文堂

【学修の準備】

- ・ (予習) シラバス記載の内容を参考に、インターネットや関連書籍等で講義内容を予習すること (1時間半)
- ・ (復習) 講義レジュメや配布資料をもとに、講義内容を復習すること。特に、各回の確認問題については正誤のみではなく、正解の根拠も確認すること。また、知識の定着と拡充のため、講義内で出てきた単語や話題について、インターネットや関連書籍等で調べる (2時間半)

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP1.人間の生命および個人の尊重を基本とする高い倫理観と豊かな人間性を身につけている。

【実務経験】

本谷 亮 (公認心理師・臨床心理士)

関口 真有 (公認心理師・臨床心理士)

【実務経験を活かした教育内容】

公認心理師・臨床心理士として、医療機関、その他相談機関での経験を活かし臨床場面への心理学的なアプローチを講義する。